

キャンプファイヤー

キャンプファイヤーは、キャンプ活動の中で、焚き火を囲んで行われる行事です。集い・儀式的な要素をもつものであり、参加者にとって忘れられない思い出となる活動のひとつです。事前にキャンプファイヤーのねらいを明確にするとともに、より効果的に実施するために、役割分担やレクリエーションの内容、音響機器の操作、会場設営等リハーサルを含めた準備をしっかりとて実施することが重要です。



活動のねらい

- (1) キャンプファイヤーを通して家族や仲間の大切さに気づき、感謝の心をもつことができる。
- (2) これまでの自分の生活を見つめ直し、より充実した生活にしようとする態度を養う。
- (3) スタンツ等の交歓を通して交流を図り、仲間とのよりよい関わり方を考え、互いの連帯感を深める。
- (4) 暗い中で移動や火の管理について十分注意し、安全に行動できる。

活動可能人数	無制限	活動・季節条件	通年
所要時間	2～3時間（準備を含む）	主な対象	幼児～
実施場所	営火場	グループの人数	—
導入指導	間接・講師	自然の家職員が各団体代表者に説明後、代表者から利用者に説明	

指導上の留意点

- (1) キャンプファイヤーのねらいを明確にし、引率者全員で共通理解を図ってください。
- (2) 参加者主体のプログラムになるよう、役割分担や演出の工夫を行い、事前に打合せや練習をして本番に臨んでください。
- (3) 暗い中で移動は、転倒して怪我をするので、キャンプ場周辺では走らないよう注意してください。
- (4) ファイヤーブロックやトーチなど火の管理を十分に行い、火災ややけどに注意してください。
- (5) 講師を依頼した場合は、事前に講師と入念な打合せを行ってください。※ 別途、講師料が必要

準備物

自然の家が貸し出しできるもの

CD ラジカセ ポータブルアンプ マイク 延長コード BGM用CD 消火用バケツ

利用者または団体で準備するもの

キャンプファイヤー用薪 灯油 トーチ（6本） 新聞紙 ライター 衣装 BGM用CD等

購入するもの・できるもの

キャンプファイヤー用薪（灯油付）

活動内容

- (1) 準備をする。
 - ① 営火場の火床にファイヤーブロックを組む。
 - ② 各係によるリハーサルを行う。（役割分担：親火1 営火長1 子火4 司会者1 音響係1）
- (2) プログラムを行う。
 - ① 第1部 迎え火の式
 - ア 全員で歌（遠き山に日は落ちて）を歌っている中で、営火を迎える。（歌省略 BGMのみ可）
 - イ 親火が営火に捧げる言葉を述べる。
 - ウ 親火が子火に呼びかけながら営火を分ける。
 - エ 営火長が迎え火の言葉を述べる。

オ 営火長が点火の宣言をする。

カ 司会の言葉を静かに聞く。(BGM：燃えろよ燃えろ)

キ 親火を先頭に営火長・子火が退場する。

② 第2部 交歓のつどい

ア はじめは気持ちや身体をほぐすような動きの入ったものや、スキンシップのあるゲームなどがよい。

イ 中程では参加者によるスタンツを中心に、歌やゲームなどを入れながら雰囲気盛り上げる。

ウ 全体の3分の2ほど進んだところで、最も盛り上がるようなダンスやゲームをする。

エ 終盤は気持ちを静めていく活動を行う。(引率者による語りかけ、手紙の朗読等)

③ 第3部 送り火の式

ア 親火・営火長・子火は、トーチを持って迎え火と同じ位置につく。

イ 親火・営火長・子火は、トーチに採火する。(省略可)

ウ 営火長が送り火の言葉を述べる。(BGM：今日の日はさようなら)

エ 参加者全員で歌を歌う。(省略可)

オ 親火を先頭に営火長・子火が退場する。

(3) 後始末をする。

① ファイヤーブロック・トーチに水をかけて完全に消火する。

② 燃えかすや灰は、翌朝9時までに所定の灰捨て場に捨てる。

③ 借用物品を返却する。

※ キャンプファイヤーマニュアル(シナリオ例)がありますので、自然の家職員にお尋ねください。